

新庁舎、地域整備に関する 協議内容の報告会

新庁舎施設整備等審議会	答申報告	会長	井原 徹	・ ・ ・	1 ~	4
山田地域整備協議会	答申報告	会長	村上 曙生	・ ・ ・	5 ~	8
稲築地域整備協議会	答申報告	会長	野見山 利三	・ ・ ・	9 ~	12
碓井地域整備協議会	答申報告	会長	嶋田 尋美	・ ・ ・	13 ~	16
嘉穂地域整備協議会	答申報告	会長	田中 穆	・ ・ ・	17 ~	20

新庁舎施設整備等審議会 答申報告

新庁舎施設整備等審議会委員

区分	団体名	氏名	備考
1号委員	近畿大学産業理工学部	井原 徹	会長
2号委員	山田地区行政区長会	村上 曙生	
	稲築地区行政区長会	大山 征男	
	碓井地区行政区長会	坂田 勲	副会長
	嘉穂地区行政区長会	田中 穆	
	嘉麻市社会福祉協議会	芹野 彌生	
	嘉麻商工会議所	松岡 光昭	
	嘉麻市商工会	野見山 利三	
	かま男女共同参画推進ネットワーク	有吉 直子	
3号委員	嘉麻市PTA連合会	野上 真吾	
	公募委員	藤井 幹裕	
	公募委員	廣瀬 公彦	

報告者

新庁舎施設整備等審議会
会長 井原 徹

答申内容 新庁舎建設に伴う建築設計に関すること



敷地概要

建設地 福岡県嘉麻市岩崎1180番地1他
 敷地面積 22,472㎡
 駐車場 458台 障がい者用 12台

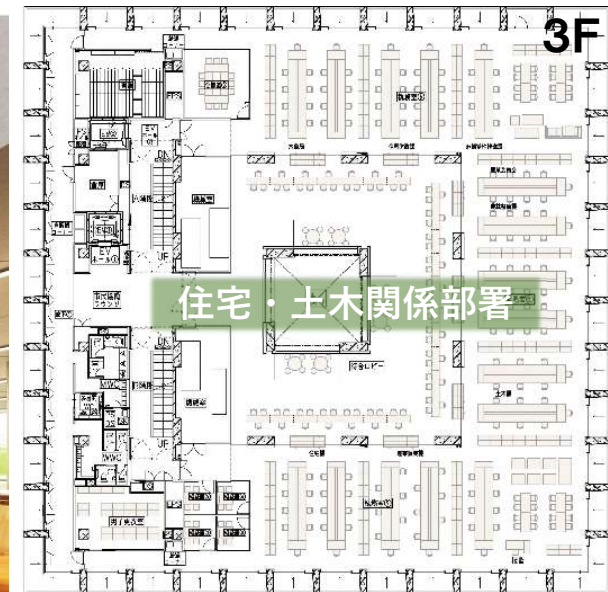
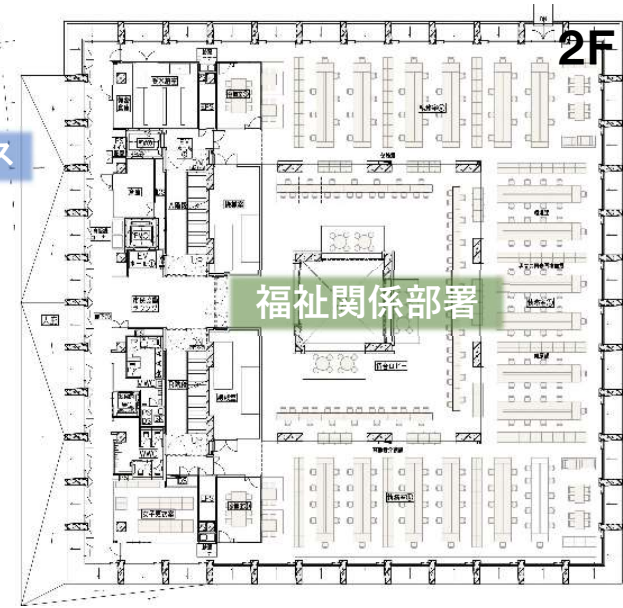
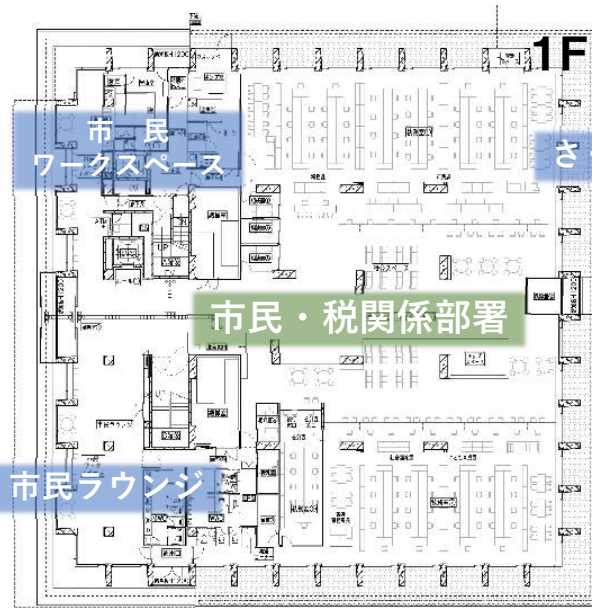
建物概要

構造 RC造 一部議場屋根のみS造
 (基礎免震構造)
 建築面積 2,030.52㎡
 延床面積 8,731.07㎡
 階層 地上5階
 最高高さ 24.72m



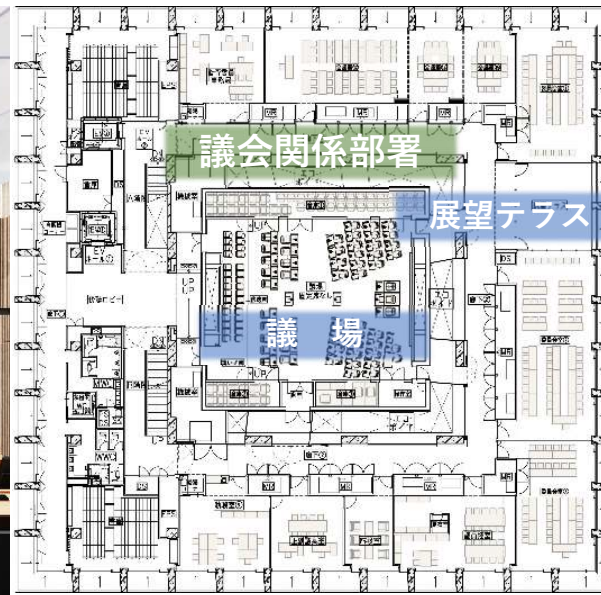
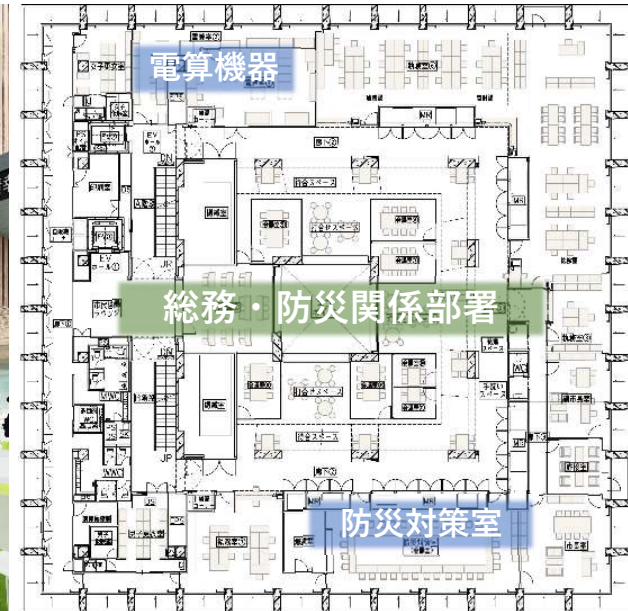
1F~3F 市民窓口フロア

- ・市民利用の多い部署を低層階に設置
- ・市民が集う市民ラウンジ、ワークスペースを設置
- ・遠賀川につながるさくらテラスを配置
- ・地域材を活用したサイン表示
- ・ユニバーサルプランによる執務室構成



4F 執行部防災対策フロア

- ・ 防災対策室周辺に意思決定機能を集約
- ・ フロア中心付近に会議室や打合せスペースを集約
- ・ 電算等の電子機器を上層階の4階フロアに配置
- ・ 議場内外壁に地域材を使用した木質デザインの採用



5F 議会フロア

- ・ 可動式家具を配置した多目的に利用できるフラット床の議場
- ・ 可動式間仕切りを設置した大会議室の設置
- ・ 遠賀川を望む開放性を持たせた展望テラスの設置

山田地域整備協議会 答申報告

山田地域整備協議会委員

区分	団体名	氏名	備考
1号委員	近畿大学産業理工学部	井原 徹	
2号委員	山田地区行政区長会	村上 曙生	会長
	山田地区行政区長会	山藤 やす子	副会長
	嘉麻市教育委員会	佐竹 正利	
	嘉麻市PTA連合会	松岡 広樹	
	株式会社 福岡銀行	石崎 聖尚	
	嘉麻商工会議所	白金 聖臣	
	嘉麻市観光まちづくり協会	廣瀬 公彦	
	嘉麻市子ども会指導者連合会	伊藤 文聡	
かま男女共同参画推進ネットワーク	深町 晴		
3号委員	公募委員	古賀 稲子	
	公募委員	高倉 香代子	

報告者

山田地域整備協議会
会長 村上 曙生

答申内容

- 山田地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること
- 支所設置付近である山田生涯学習館や近隣施設等と一体化したコンパクトなまちづくりを目標に地域整備を行うこと。
 - 子育て、定住促進拠点としてのまちづくりを目指し、様々な手法を用いながら住みたいと思えるような地域整備を行うこと。



● 第3回山田地域整備協議会での意見集約 ●

庁舎跡地の利活用について

定住促進のための分譲地

- ・嘉麻市に職場がないため、ベッドタウン化。
- ・ベッドタウン化のためには、交通アクセスが必要。
- ・桂川駅までの交通網整備。
- ・土地を安く売る。
- ・分譲地は完売している。
- ・定住促進のための補助金必要。

企業向けの独身寮

- ・企業誘致が難しければ行政からアプローチをする。

高齢者が住める住宅

- ・高齢者でのルームシェア施設。
- ・生涯定住できる高齢者用養護施設。
- ・スーパーがないので買い物できる併合施設。
- ・老人のまち一本でいく(特色をだす)。
- ・全てバリアフリー化する。
- ・幼稚園と連携し孫とのコラボ。
- ・美奈宜の社での事例参照。

誘致企業

- ・働く場所が必要。
- ・若者が流出している。

商業施設

- ・上山田マルシン閉店に伴い、買い物弱者がいるのではないかと。
- ・スーパーが必要。
- ・飲食店としてコーヒー店。(周辺を回遊する際)

有害鳥獣の解体施設

- 有害鳥獣捕獲後の利用。

地域特性

高齢者が多い

- ・4地域の中でも高齢化率がトップである。
- ・シルバー人材センターがある。

生涯学習館付近

- ・こども・高齢者が集まる。
- ・催し物がある。
- ・金融機関やATMがある。
- ・平地に位置している。
- ・山田らしさがでている。
- ・交通の拠点となりうる。
- ・農地がない(上山田周辺)

公共施設

- ・まとまって、充実している(小学校・中学校・図書館・サルビアパーク等)
- ・こどもが多い(生涯学習館やサルビア付近)
- ・コンパクトにまとまっている。(集中している)

教育

- ・体験学習での職場経験で夢のある子を育てる。
- ・地域がこどもを育てる。
- ・家庭教育をしっかりと行う。
- ・公民館が地域に与える役割は大きい。
- ・地域に住んでいることの意識付けをする。
- ・こどもが地域からでていき戻ってこない。

歴史文化

- ・昔の下山田地域の歴史(炭鉱の町)、上山田の歴史(商業)を後世にのこせないか。

答申内容

2 山田地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方に関すること

(1) 整備方針について

- 山田庁舎については、建物の老朽化や耐震性を考慮し、除却することを前提とした活用を検討すること。
- 活用については民間譲渡区画として、分譲宅地や商業、高齢者用施設等としての活用として一定期間の公募を行い、民間活力の導入を図ること。
- 公募がなかった場合は、分譲宅地や多目的広場、高齢者用施設等を想定した整備等を検討すること。

(2) 支所のあり方について

- 支所は山田生涯学習館と連携できるように、雨避けを設置するなど容易に行き交いできることや、多目的トイレを共用するなど相互に補完できる施設を検討すること。
- 支所の規模は諸証明の発行や簡易な申請及び相談、また地域振興やコミュニティ拠点として、職員15人（正規職員数は10人）が勤務できる執務室、期日前投票や各公共団体が使用できる会議室、防災資機材を置くことができるスペースを持つ施設とすること。
- 災害対策本部が設置された場合、地域対策支部として災害対策本部と連携を取りながら補完的な活動を行い、物資備蓄機能と情報収集伝達機能を確保できる施設とすること。
- ユニバーサルデザインに準じた、市民の利用しやすい支所とすること。

庁舎敷地の具体的な利活用（案）について

資料15

協議会委員の意見を基に、仮に作成したものです。



※協議会委員の意見を基に、仮に作成

3 その他附帯意見

- 定住促進に向け、交通利便性の向上を図ること。
- 支所設置の際は近隣住民に十分配慮すること。
- 支所設置に伴い減少する駐車場については、周辺施設との連携活用を検討すること。
- 旧山田高等学校跡地について関係団体と協議し、利活用について検討すること。



稲築地域整備協議会 答申報告

稲築地域整備協議会委員

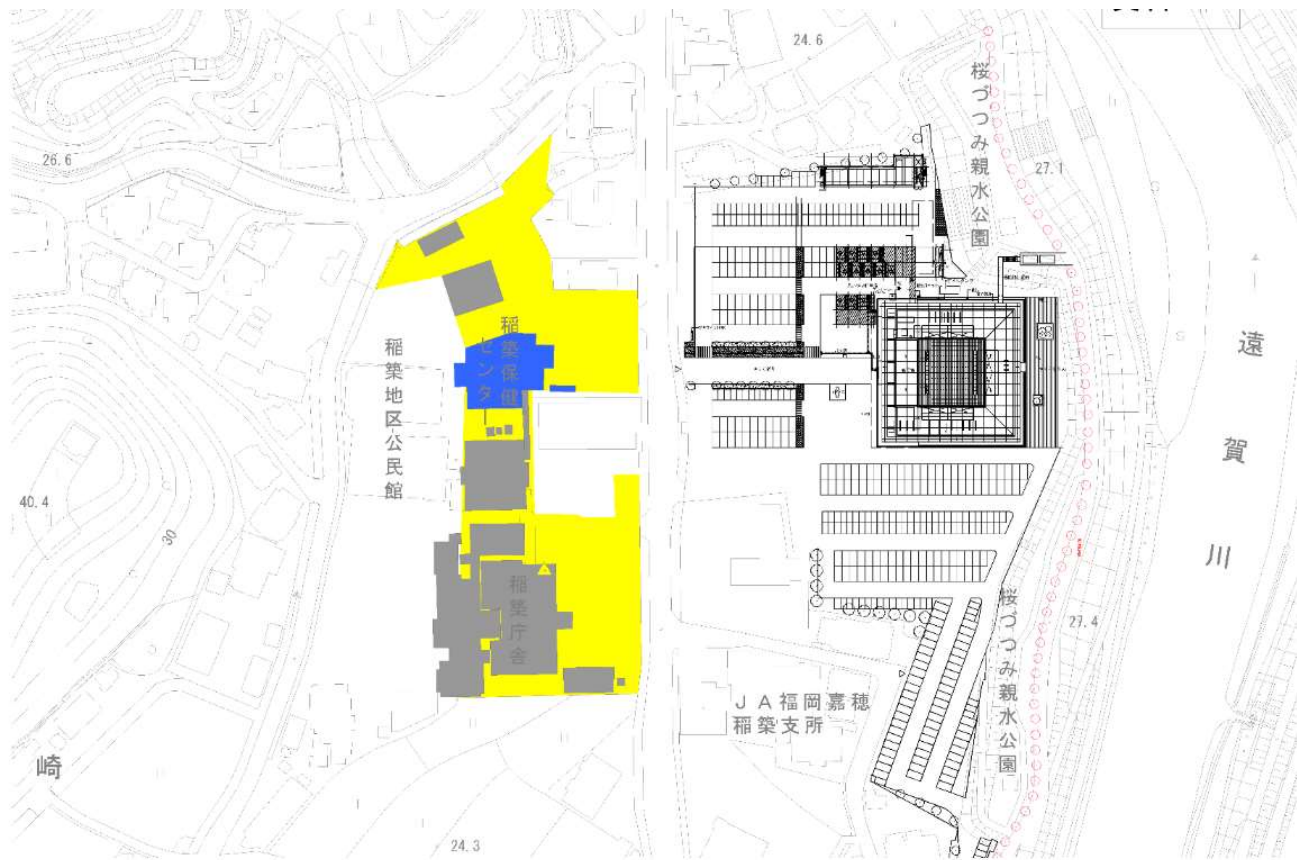
区分	団体名	氏名	備考
1号委員	近畿大学産業理工学部	井原 徹	
2号委員	稲築地区行政区長会	平井 由子	副会長
		飯田 千鶴美	
	嘉麻市教育委員会	辻田 喜美	
	嘉麻市PTA連合会	野上 真吾	
	株式会社 福岡銀行	芳司 修治	
	嘉麻市商工会	原中 廣紀	
	嘉麻市観光まちづくり協会	野見山 利三	会長
	福岡県	田渕 慎一郎	
3号委員	かま男女共同参画推進ネットワーク	有吉 直子	
	公募委員	越岡 加代子	
	公募委員	藤井 幹裕	

報告者

稲築地域整備協議会
会長 野見山 利三

答申内容

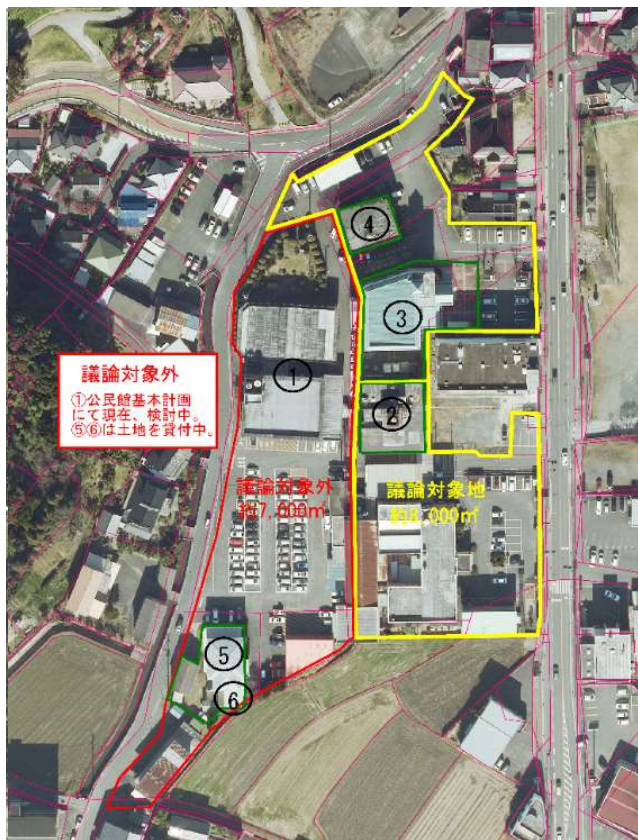
1 稲築地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること
行政機能拠点となる新庁舎を中心とした賑わいのある地域整備を行うこと。



答申内容

2 稲築地域の庁舎周辺地域の整備方針に関すること

- ・ 稲築庁舎、稲築母子健康センター・稲築住民センター及び旧稲築町労働会館については、合併特例債の期限内に除却すること。
- ・ 民間譲渡区画として、商業施設、分譲宅地等の活用として、一定期間の公募を行い民間活力の導入を図ること。
- ・ 道路交通量の増加が見込まれるため、渋滞緩和対策等の検討を行うこと。



稲築庁舎



③稲築保健センター



②稲築母子健康センター・住民センター

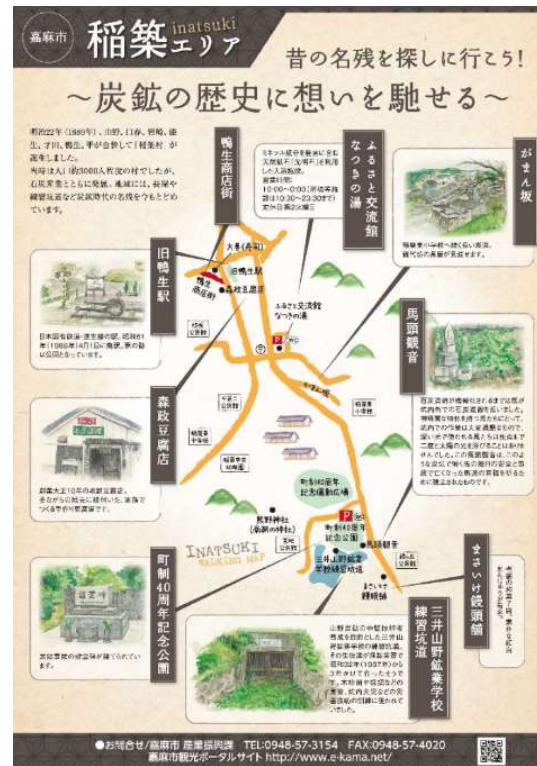


④労働会館

答申内容

3 その他附帯意見

- 老朽化した公民館施設等の検討についても行うこと。
- 稲築庁舎等を除却する場合は、建物を使用している団体への配慮を行うこと。
- 庁舎周辺部だけではなく、高齢者も住みやすい稲築地域全体での活性化についても検討を行うこと。
- 新庁舎付近の周辺民間施設等に対して、地域景観のために周辺環境に合うような協力を求めること。



碓井地域整備協議会 答申報告

碓井地域整備協議会委員

区分	団体名	氏名	備考
1号委員	近畿大学産業理工学部	井原 徹	
2号委員	碓井地区行政区長会	末吉 進一	
	碓井地区行政区長会	頼金 豊子	副会長
	嘉麻市教育委員会	犬丸 隆行	
	嘉麻市PTA連合会	田中 豊和	
	株式会社 福岡銀行	牛島 浩幸	
	嘉麻市商工会	嶋田 尋美	会長
	嘉麻市観光まちづくり協会	谷口 裕司	
	株式会社 うすい	末田 恭介	
	かま男女共同参画推進ネット ワーク	齊藤 由美	
3号委員	公募委員	大里 由香	
	公募委員	鹿江 由美子	

報告者

碓井地域整備協議会
会長 嶋田 尋美

答申内容

1 碓井地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること

- 碓井庁舎、碓井琴平文化館、道の駅うすいや琴平公園等の既存施設を有効活用し、相互にいかしながら回遊性のある地域整備を行うこと。
- 教育拠点・商業拠点としてのまちづくりを目指し、様々な手法を用いながら住みたいと思えるような地域整備をすること。



答申内容

2 碓井地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方に関すること

(1) 整備方針について

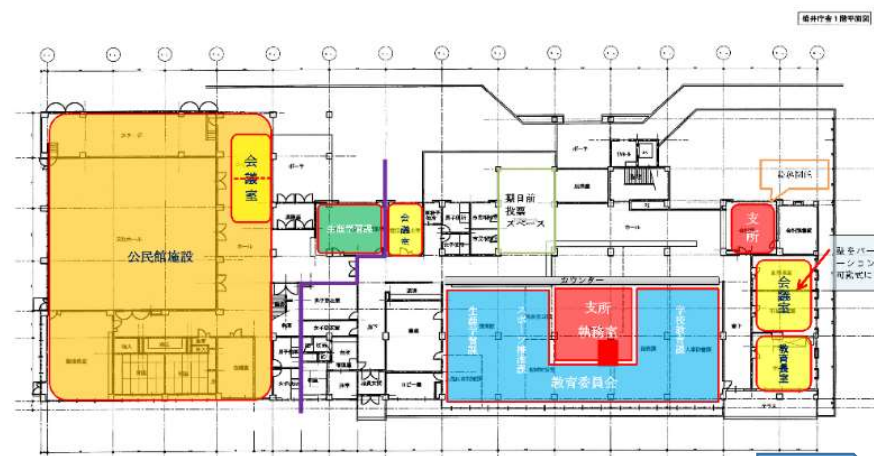
- 民間譲渡区画として、商業施設等の活用として、一定期間の公募を行い民間活力の導入を図ること。
- 公募がなかった場合は、碓井庁舎前面の芝生化、遊具設置等を行い、道の駅うすいを中心とし、商業集積地の利活用を検討すること。

(2) 支所のあり方について

- 支所の規模は諸証明の発行や簡易な申請及び相談、また地域振興やコミュニティ拠点として職員15人（正規職員数は10人）が勤務できる執務室、期日前投票や各公共団体が使用できる会議室、防災資機材を置くことができるスペースを持つ施設とすること。
- 災害対策本部が設置された場合、地域対策支部として災害対策本部と連携を取りながら補完的な活動を行い、物資備蓄機能と情報収集伝達機能を確保できる施設とすること。
- 碓井庁舎を利活用し、支所を設置すること。また、平成38年度までは、教育委員会（教育センター併設）を設置するが、平成39年度以降、教育委員会が新庁舎へ移動となった場合にできる空きスペースについては、再度検討を行うこと。
- 碓井庁舎の老朽化に伴い、将来的に支所の建設が必要になったときは、山田、嘉穂と同程度の支所を建設すること。



碓井庁舎室内レイアウト（1階平面図）



答申内容

3 その他附帯意見

- ・ 碓井地域整備協議会で提出された意見については、最大限尊重すること。
- ・ 将来に負担を残さない財政状況を踏まえた整備を行うこと。
- ・ 碓井庁舎前の周辺道路について安全かつ混雑を解消するような整備を検討すること。
- ・ 碓井地区の商業マップ等、地域整備基本計画前に対応できるものについては、迅速に検討を行うこと。



● 第3回碓井地域整備協議会及び意見書での意見集約 ●

庁舎周辺地の利活用及び地域特性について

公園・広場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな公園 ・ 大型遊具がある芝生公園 	織田廣喜美術館 <ul style="list-style-type: none"> ・ ロケーションをいかした結婚式場、ガーデンパーティー ・ カフェ(テラス付き)でSNSで発信 ・ 子どもへの投資部門で ・ 美術館利用の促進のため手続きを分かりやすくする。
レジャー施設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 木室りやツリーハウス。 ・ 大きなプール 	道の駅 <ul style="list-style-type: none"> ・ シャワールームやロッカールーム ・ オートキャンプ場 ・ 災害時への支援対応等、庁舎との連携
飲食店 <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店が少ない・地産地消のレストラン ・ 監修は有名人 ・ 参考事例はたくさんある ・ 特定の食材を押し ・ 学校等のコラボや飲食店希望者への場所提供 ・ 雇用は地域の人で、 ・ 特産品が食べられる食堂 ・ 飲食店は浮き沈みがある ・ イベント会社や地元食堂との提携による食事提供 	公共施設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設が充実している。 ・ 支所の肥大化は避ける ・ 不要な公共施設の排除
宿泊所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生向け宿泊施設 ・ 簡易宿泊施設 	回遊性がある <ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーキングのためのキロ表設置 ・ 遠賀川・千手川でのウォーキング・ランニングコース ・ レンタサイクル等で回遊しやすいように ・ 遊び・学び、食べる
誘致企業 <ul style="list-style-type: none"> ・ ターゲットを絞り打診する。 	教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の健全な心身育成の場所
公民館・集会所・コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・ 碓井庁舎付近に公民館。 	観光 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光の拠点緊集
医療・福祉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合病院誘致(耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科等) ・ 敷地内への病院誘致 	その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市全体が発展するための位置づけを明確化 ・ 次世代意見の反映、負のレガシーを残さない。 ・ 幅広歩道・作家の露店 ・ 銀行のATMを集約化・子どもの預かり場所 ・ 支所を新設しないので予算の確保をしてほしい。 ・ 利用しやすい位置への建物移動
碓井庁舎 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民ホールの食事スペース ・ ミニシアター等の設置 	

嘉穂地域整備協議会 答申報告

嘉穂地域整備協議会委員

区分	団体名	氏名	備考
1号委員	近畿大学産業理工学部	井原 徹	
2号委員	嘉穂地区行政区長会	田中 穆	会長
	嘉穂地区行政区長会	大屋 瑞枝	
	嘉麻市教育委員会	豊福 眸子	副会長
	嘉麻市PTA連合会	青柳 剛太郎	
	株式会社 福岡銀行	寺田 秋雄	
	嘉麻市商工会	松村 一弘	
	嘉麻市観光まちづくり協会	安河内 隆	
	大隈小学校跡地活用委員会	縄田 洋明	
	かま男女共同参画推進ネットワーク	縄田 緑	
3号委員	公募委員	浅田 美千代	
	公募委員	榎 悦子	

報告者

嘉穂地域整備協議会
会長 田中 穆

答申内容

- 1 嘉穂地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること
 - 嘉穂庁舎敷地や旧大隈小学校敷地を有効活用した、商業や農林業、観光、定住促進拠点としてのまちづくりを目指し、様々な手法を模索しながら住みたいまち、住み続けたいまちと思えるような地域整備を行うこと。
 - 嘉穂地域の自然環境や歴史、文化の特性をいかし、景観に沿った地域づくりを行うこと。

- 2 嘉穂地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方に関すること

- (1) 整備方針について

- 嘉穂庁舎及び旧大隈小学校校舎を除却し、公募等による民間活力の導入を図ることを前提に、嘉穂地域の魅力を十分にいかした活用を求めること。
- 公募等がなかった場合は、民間活力による分譲宅地等として定住化を図ること。



嘉穂庁舎周辺地域の具体的利活用



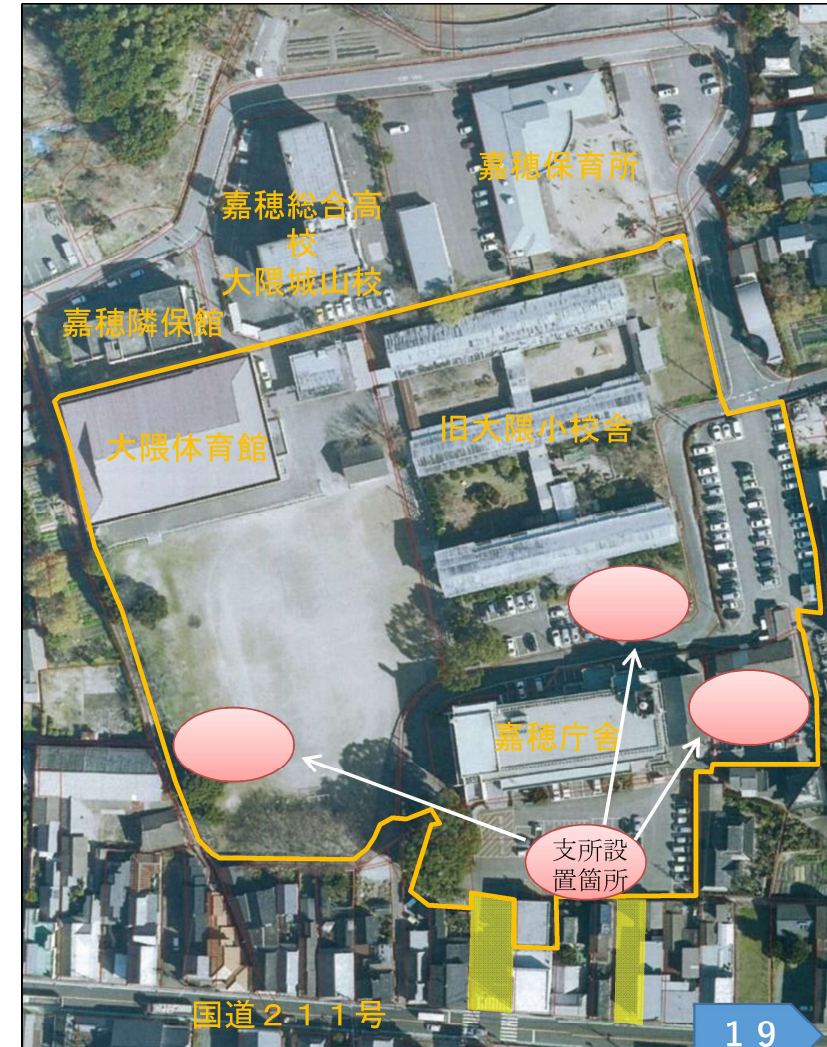
答申内容

2 嘉穂地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方に関すること

(2) 支所のあり方について

- 支所は、嘉穂庁舎敷地周辺への設置を原則とし、コミュニティの拠点として地域住民に親しみの持てる支所とすること。
- 支所は、コンパクトな規模とし、諸証明の発行や簡易な申請及び相談、また地域振興やコミュニティ拠点として、職員15人程度とし、職員が勤務できる執務室、期日前投票や各公共団体が使用できる会議室、防災資機材を置くことができるスペースを持つ施設とすること。
- 災害対策本部が設置された場合、地域対策支部として災害対策本部と連携を取りながら補完的な活動を行い、物資備蓄機能と情報収集伝達機能を備えた施設とすること。
- 嘉穂地域の観光等、情報発信拠点としての機能について検討をすること。

番号	名称	用途	備考
1	執務室	証明書の発行 会計事務 簡易な申請・相談 地域振興 コミュニティの拠点 情報収集伝達機能 (防災)	1課2係制 職員15人 50㎡
2	会議室	期日前投票 各公共的団体が使用	期日前投票のスペース12×6=72㎡ (碓井、山田の会議室参考)
3	防災スペース	防災資機材を置くことができる 物資備蓄機能	倉庫兼用
4	トイレ	市民、職員兼用	多目的トイレ含む
5	給湯室 ロッカー室	職員使用	
6	玄関ホール	市民待合室	



答申内容

3 その他附帯意見

- 人口減少や厳しい財政状況を踏まえ、公共施設の複合化や統廃合を視野に置いて、後世に負担を残さないような公共施設のあり方を検討すること。
- 定住促進を図るうえで、企業誘致や住宅団地の開発を進めること。
- 農林業等、嘉穂の地域特性に最大限配慮した支所の機能、地域に精通した職員の配置を検討すること。
- 特色のある歴史や文化の保存や、資料館等の設置を検討すること。
- 観光の要素となる地元食材の活用や誰もが滞在できる施設等について検討すること。



委員名	まとめ以外の意見
田中 穆 会長	嘉穂支所と各地域の出張所を設置
豊福眸子 副会長	周辺の安全管理ができる支所
井原 徹 委員	外観への配慮
大屋 瑞枝 委員	観光案内 休日開設
青柳剛太郎 委員	歴史資料の保管保存 観光
寺田 秋雄 委員	観光案内
松村 一弘 委員	庭やオープンテラス 公園
安河内 隆 委員	支所で完結
縄田 洋明 委員	人件費の削減 窓口業務のみでよい
縄田 緑 委員	嘉穂の農林業、その他特色をいかすため出先機関の設置
浅田美千代 委員	安心・安全 観光 休日の窓口開設
樺 悦子 委員	市の提案に観光窓口を加える 施設併設の希望

